

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		SNSによる多言語観光情報発信				所管	文化産業観光部 観光課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	38	計画事業名	台東区観光ウェブサイト		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出				[事業開始] 平成27年度				
		[小 柱] (1)観光資源の再発見と活用の推進				[終了予定] - 年度				
		[施 策] ②観光案内と情報発信の充実								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	直接の対象 : 外国人観光客を含めた国内外のSNS利用者 最終的な対象 : 国内外の観光客								
	事業目的	対象国のターゲットに親和性かつ即時性が高い情報発信による誘客促進								
事業内容 [29年度]	コミュニケーションツールであるSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を活用し、即時性の高い観光情報を発信する。また、訪日観光客の利用率が高い、英語・中国語(繁体)・韓国語・タイ語・インドネシア語の5言語で、ネイティブスタッフが取材・記事を作成し、国内外のSNS利用者に台東区の観光情報を発信している。 ○観光情報発信回数 英語・中国語(繁体)・韓国語 各105回、タイ語 162回・インドネシア語 159回 ○ファン数:105,507人(5言語合計)									
委託の有無	一部委託		委託内容	ネイティブスタッフによる取材、記事の作成及び発信、広告掲載、キャンペーン						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	記事発信回数		回	800	462	579	636	600	106.0%
		ファン数		人	160,000	7,853	40,584	105,507	20,000	527.5%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				2,406	6,242	419		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				4,407	6,523	6,221		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				6,813	12,765	6,640		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				4,407	0	0		
一般財源(区負担額)				2,406	12,765	6,640				
前回評価から29年度に改善した事項	イベント等の観光情報に限らず、外国人観光客を対象に区が実施する事業等も配信し、より多くのSNS利用者に対して訴求できるよう配信内容の充実を行った。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)は外国人観光客の情報収集の手段として広く活用されている。公共マナーの啓発のほか、情報の即時性を利した災害等緊急情報の発信ができる体制を構築しており、急増する外国人観光客の受入環境を整備する観点からも、行政が実施する必要がある。							
	効率性	3	SNSは情報の拡散性が高いため、一時的に閲覧した人からも多くの利用者に広く情報発信できるツールである。世界各国で様々なSNSが使用されているが、Facebookが最も利用者数が多く、本区の観光情報を最も効率的に発信できるサービスである。							
	手段の適切性	3	記事は各言語のネイティブスタッフが取材し作成するため、それぞれの言語スタッフが在籍する事業者に委託する手法が最も適切である。これにより、SNS利用者からの個別の質問に対しても具体的な回答ができるため、ニーズに即した情報を的確に、かつ迅速に配信できている。							
目的達成度	4	全てのアカウントにおいてファン数が増加しており、特に、平成28年度に新規開設したタイ語とインドネシア語は増加が著しい。いずれも、今後さらなる訪日旅行客の増が見込まれる国であり、本事業による訴求効果は高く、引き続き、ニーズに即した情報をタイムリーに配信し、内容の充実にも努めていく。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
外国人観光客が急増するなか、本事業により、訪日中の外国人観光客及び訪日旅行を検討している在外の外国人に、様々な言語で直接情報を配信できおり、訪日観光客の情報需要を満たしている。また、観光情報の一環として、公衆浴場での入浴方法等公共マナーに関する情報も提供しており、マナー啓発にも寄与している。今後は、より効率的な運用を目指し、配信情報の見直しなどに取り組んでいく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		